



私と日本語

遼寧省・瀋陽市朝鮮族第一中学 高1（男）

金 山賀

私が通っていた中学には外国語は英語と日本語があって自由に選ぶことができることになっていました。それは私にとってはうれしいことばかりではありませんでした。なぜかと言うと、私が普段いくら英語の塾に通って一生懸命に勉強をしても私の英語の成績は上がるどころか、下がっていたのがっかりしていたからです。聞くとところによると、日本語は英語より簡単で大学試験で高い点数を取りやすいそうです。私は親の反対にもかかわらず、何年も習っていた英語を止めて日本語を選択しました。

中学二年生の時、日本語の時間に日本語の先生は「来週の金曜日の日本語の時間には日本人の先生を誘って授業をするからみんな家へ帰って質問したいことや知りたいことなどを考えてきてください。」と言いました。先生の話聞いた時、私はとてもうれしかったです。「今度こそ本当の日本人に会うことができる！！」と思いました。その時まで日本人に一度も会ったことがなかった私は今まで習った日本語を実際に試してみたり、知りたかった日本の中学生の生活などについても質問したくなりました。その日から私はずっと日本人の先生が来るのをたのしみにしていました。

いよいよその日になりました。日本語の先生のあとに少し背の低い女の人が入ってきました。「あ、日本人の先生だ。」と私は直感しました。目が大きくてきれいな顔には微笑みが浮かんでいました。優しい先生でした。先生は笑顔で「私の名前は鈴木奈々美と言います。今度みなさんと一緒に勉強することができてとてもうれしいです。どうぞよろしくお願ひします。」とゆっくり自己紹介からはじめました。先生は優しく話してくれたので、私たちは初めてなのに次々といろいろな質問を出しました。私たちの質問にとても丁寧に答えてくださった先生は、今度はかばんの中から派手な服を何枚か取り出しました。私が映画やドラマの中で見た和服でした。

私たちは初めてそれが「浴衣」ということを知り、先生が教えてくださったとおりに着てみました。思ったより面倒くさくて失敗した学生もいました。それを見て私たちは大笑いをしながら成功するまでやってみました。見た目にはきれいで立派な服ですけれども、着るのにそんな時間がかかるとは思いませんでした。そろそろ時間になって私たちは先生と学校の前で一緒に記念写真を撮りました。私はこんなにもおもしろくて楽しい授業を受けたことがありませんでした。家へ帰ってもやさしかった先生の顔ときれいな浴衣が浮かんできました。今度の授業を通して私の日本に関する知識が少しでも豊かになっただけではなく、日本語と日本人、それから日本という国へも興味を持つようになったと思います。

あの時からただ外国語の成績を上げるために日本語を習いはじめた私は日本語の時間になるのを待っているばかりでなく、日本語の時間が楽しくて面白い時間になりました。日本語の会話力や聞く力を高めるために私は一週に一回は必ず日本のアニメを見ることにしました。

アニメは見れば見るほどその魅力に落ちて大好きになりました。アニメを通していろいろなことを勉強しました。私の日本語の単語の量がどんどん増えたのは言うまでもなく、深い感銘を受けたこともあります。「フェアリテール」というアニメの中では主人公とその友達が悪い人に出会うたびに一人の力でなくみんなで協力し合って戦って勝ちました。アニメを通して楽しく思ったこともあります。それは「灯籠祭」です。その日になると、みんな着物を着て道の両側にある店に寄っておいしい食べ物を食べたり娯楽室で思いきりゲームしながら遊んだりします。見ている自分もその場に行って一緒にあれこれやりたくなります。そればかりでなく、アニメを通して日本には中国にないいろいろなお祭り、大会などがたくさんあることも知りました。

アニメはもう私にとって日本語の能力を高める一つの手段になったばかりでなく、人生を生きていく道に必要なものを教えてくれるものになりました。アニメはもう私の生活になくてはならない物になっています。私の日本に対する好奇心もだんだん強くなりました。同時にぜひ日本に行ってみたいと思いました。また、それが今の私の夢になりました。

中学に入って、私が英語のかわりに日本語を選ぼうとした時、親は何年間かの努

力がもったいなくて賛成してくれませんでした。高校に入学したばかりのころ、母は「日本語を止めて英語を勉強したほうがいいじゃない？」と私に聞いたことがありました。いくら誰が何と言っても日本語に対する私の愛情は揺れません。私は夢を諦めたくありません。夢があって私は前よりもっと熱心に日本語を勉強するようになりました。我を張って譲らない私を見て、母は今は私を応援してくれる一員になりました。

日本語を習っているということはただ日本語という言語を習うだけでなく、日本の文化や歴史などいろいろな分野にわたっているものを勉強するということだと思います。

今私が知っていることのほかにもっと多くておもしろいことや不思議なことがまだまだたくさんあると思います。ですからいつかぜひ一度日本に行って知らなかった日本の世界を広げてみたいです。そのようになるまでいくら難しいことがあってもいくら私をがっかりさせることがあっても、私は挫折しないで最後まで頑張りたいです。